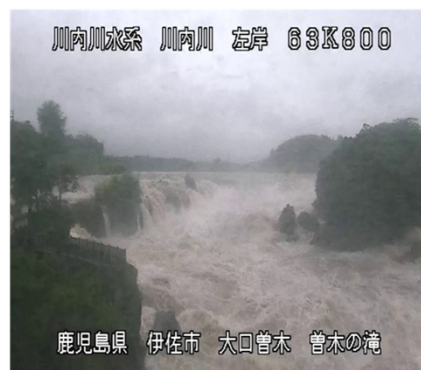


○. 防災操作の効果 鶴田ダム(川内川水系川内川)

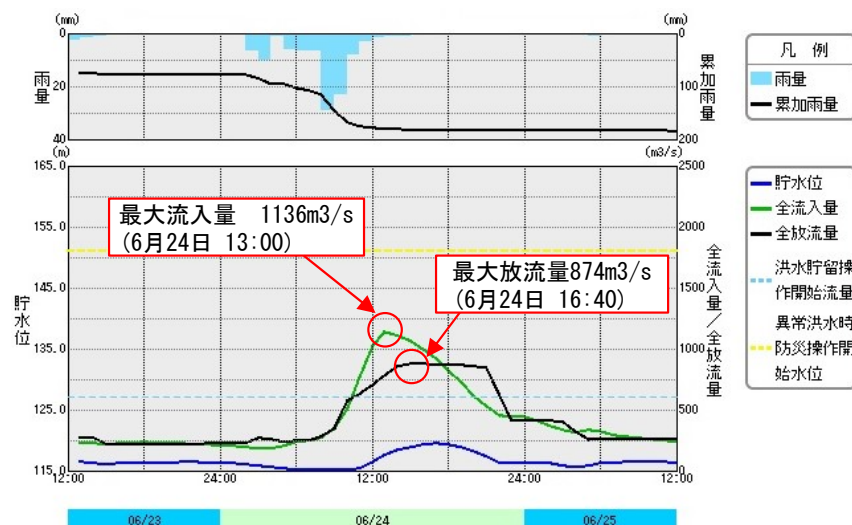
- 梅雨前線に伴う豪雨により、鶴田ダム上流域において、6月22日～24日までの総雨量は183mmを観測しました。
- 鶴田ダムでは、24日10時30分より、ダムへ流れ込む水量の一部を貯める「洪水調節」を行いました。
- ピーク流入量は約1140m³/sを記録しその際ダムにより約350m³/sを貯留して下流河川の増水を緩和しました。
- 鶴田ダムが無かった場合の宮之城水位観測所の水位は、水防団待機水位(4.00m)を上回る4.43mに達していたと想定されダムの洪水調節によって約0.45m水位を低下させたと推定されます。



ダム上流「曾木の滝」の状況(24日13時00分頃)



ゲート放流状況(24日13時00分頃)

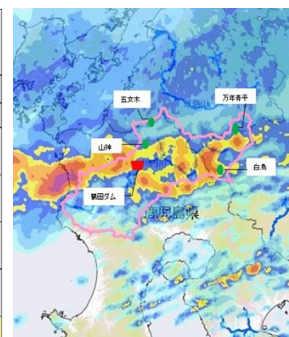


◆ 降雨の状況

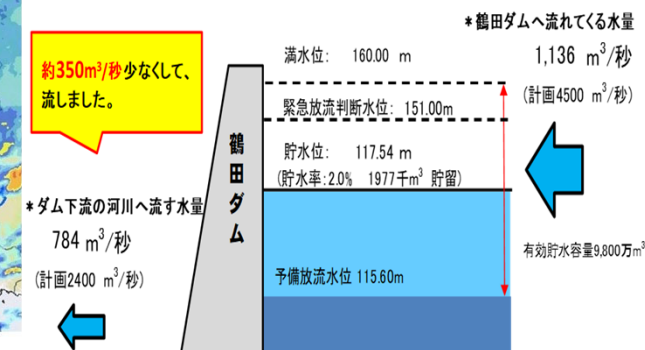
鶴田ダム上流域の主な観測地点の雨量

[6月22日0時～6月24日22時]

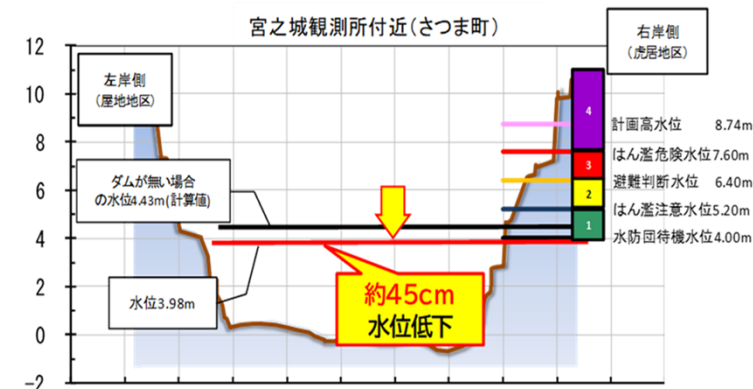
所在地	観測所名	観測値(累加) mm
宮崎県 えびの市	白鳥 (しらとり)	258.0
鹿児島県 伊佐市	五女木 (ごめき)	117.0
宮崎県 えびの市	万年青平 (おもたいら)	186.0
鹿児島県 伊佐市	山神 (やまのかみ)	153.0
鶴田ダム上流域の平均累加雨量		182.7



◆ 鶴田ダムの状況 (6月24日13時00分 最大流入時点)



◆ 宮之城付近での鶴田ダムの水位低減効果(6月24日12時00分)



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります